

2023年度 一般社団法人那覇青年会議所

魅力再構築室 広報拡大委員会 委員長 喜納政貴

<p>現 状 分 析</p>	<p>【広報】 対外への広報活動について、HPの更新やInstagramを活用した情報発信が主であり、活動内容の周知や青年会議所自体の認知度の向上に寄与しているかが不透明である。一方TVや新聞等既存媒体への広報活動は発信力が高く、評価に値する。 対内への広報活動について、各事業の案内手段はLINEが主であるが、情報の受発信が事業実施直前となることが多く、効率的に予定が組めず、事業参加率の低下を招いている。また、対内での活動状況・背景が見えにくく、参加意欲に欠ける状況となっている。</p> <p>【拡大】 那覇青年会議所の会員数は約10年で半減し（2011年度期首会員数95名、2022年度期首会員数49名）、このまま減少傾向が続けば組織存亡の危機を迎えることとなる。また、沖縄の女性経営者数は全国トップクラスにも関わらず、当組織の女性会員比率の低さは我々が目指す姿と大きく乖離している。</p>								
<p>目指すべき状態</p>	<p>【広報】 ・HP等を活用し「知りたい情報」へ、誰もが簡単に素早くアクセス出来る状態（対内）。 ・HPやSNSツールを活用し「知らせたい情報」を定期的に発信し認知される状態（対外）。 ・理事役員だけでなく一般会員や新入会員の事業参加率が高い状態（対内）。</p> <p>【拡大】 ・既存拡大活動による入会希望者が毎年度一定数確保された状態（拡大活動の円滑な引継）。 ・入会希望者が自然と増加する、憧れる組織・魅力あふれる組織の状態。 ・女性会員数の拡大によって女性会員比率が高い状態。</p>								
<p>連 携 概 要</p>	<p>【広報】 ・2022年度広報委員と連携しHPやSNSを用いた現年の広報活動を継承することに加え、HPの質の向上やSNS（主にInstagram）のフォロワー数の向上を図る。 ・県内各LOMや地方自治体、新聞・TV・雑誌を始めとする既存メディアなどと連携し、那覇市民はもとより、沖縄県民に広く情報を発信し認知度の向上を図る。</p> <p>【拡大】 ・県内経済団体や非営利活動団体、特に女性を謳った組織と連携し拡大につなげる。 ・卒業会員と連携し、次世代を担うリーダー候補や同じ志を持った青年経済人の紹介を仰ぐ。 ・既存理事役員・会員と拡大運動の理念を共有・連携することで、会員一人ひとりが組織の一員として自覚を持ち、拡大運動を共に行う。</p>								
<p>S D G s</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">S D G sのゴールとターゲット番号</td> </tr> <tr> <td>16-6</td> <td>効果的なはたらきができ、そのはたらきについて十分な説明ができ、だれにでもそのはたらきのない様や過程がわかるような公的な機関を、あらゆるレベルで発展させる。</td> </tr> <tr> <td>1717</td> <td>さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	S D G sのゴールとターゲット番号		16-6	効果的なはたらきができ、そのはたらきについて十分な説明ができ、だれにでもそのはたらきのない様や過程がわかるような公的な機関を、あらゆるレベルで発展させる。	1717	さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。		
S D G sのゴールとターゲット番号									
16-6	効果的なはたらきができ、そのはたらきについて十分な説明ができ、だれにでもそのはたらきのない様や過程がわかるような公的な機関を、あらゆるレベルで発展させる。								
1717	さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。								
<p>運 動 手 法</p>	<p>【広報】 見えるJCの完全実現 ～シアワセノイト～ ・対外への情報発信を主とした2022年度活動内容の引継に加え、各委員会の事業内容やスケジュール概要を対内で共有し、縦横断的な関わり方を構築する。</p> <p>～なはじえいしい瓦版～ ・対内報を作成し各委員会の事業案内や例会、全国大会などの情報発信を行う。</p> <p>～広報2.0～ ・HPの継続的なアップデートやデジタル掲示板の活用を模索し「知りたい情報」へのアクセスしやすさを向上させる。 ・「知らせたい情報」を知らせたい時に情報展開出来るよう、HPやSNSだけでなく、既存メディアとの強い繋がりを構築する。 ・HPやSNS、TV、ラジオなど、メディアそれぞれの特性を考慮し使い分けることで、効果的な情報発信を行う。</p> <p>【拡大】 安定的な会員確保及び女性会員比率の向上 （拡大目標：女性会員10名、男性会員25名（内、新たな業種5名）、計35名） ～プレミアム異業種交流会～ ・「女性起業家の異業種交流会」や「若手経営者の集い」、「経営者育成塾」等の実施で女性会員の入会及び業種拡大の仕組み作りを構築する。</p> <p>～JCの集い～ ・模合やBBQ、クリスマスイベントなどを実施し、風通しの良い魅力あふれる組織をPRすることで、拡大運動につなげていく。</p> <p>～アタックリスト・動画ツールのフル活用～ ・既存拡大ツールであるアタックリストをグループラインで共有することで、拡大運動の進捗状況を見える化する。また、以前行われていた拡大運動活動状況を動画で案内するなど「会員全員で拡大運動を行っていく」といった雰囲気醸成する。</p> <p>※各運動手法の名称は検討中</p>								
<p>カ ウ ン タ ー パ ー ト ナ ー</p>	<p>沖縄県、那覇市、琉球新報、沖縄タイムス、OTV、RBC、QAB、沖縄ラジオ、FM沖縄、FMコザ、FM琉球、ROK、FM那覇、FMよみたん、FMたまん、NHKラジオ局、八重山日報、宮古毎日新聞、琉球銀行、沖縄銀行、海邦銀行、沖縄セルラー電話、商工会議所、県内各LOM、日本青年会議所、沖縄地区協議会、沖縄ブロック協議会、沖縄県内各経済団体、etc</p>								